

CHAPTER  
1

かみ  
神



基本編 (きほんへん)

テキスト P16~23

1

せいしょ ほん き なん せつめい  
聖書はどんな本だと聞かれたら、あなたは何と説明しますか？  
(参照：P16 ~ 17)

2

かみ てんち そうぞう おも  
神が天地を創造したことについて、あなたはどのように思いますか？  
(参照：P18 ~ 20 L6)

3

にんげん かみ つく おも  
人間が神によって造られたことについて、あなたはどのように思いますか？  
(参照：P20 ~ 22)

4

かみ にんげん あい すば そんざい そうぞう くだ  
神は人間を愛され、素晴らしい存在として創造して下さいました。そして人間は  
かみ こころ かよ よろこ い  
神と心を通わせ、喜びをもって生きるものだったのです。このような神を信じる  
とき かんが かた い かた か  
時に、あなたの考え方や生き方はどのように変わのでしょうか？  
(参照：P22 ~ 23)

5

こころ のこ たいせつ か と  
心に残ったこと、大切なことを書き留めておきましょう。

ふくしゅう

## 復習タイム

- ◆ 聖書は旧約聖書が「<sup>せいしよ きゅうやくせいしよ</sup>」巻、新約聖書が「<sup>かん しんやくせいしよ</sup>」巻あり、  
B.C.「<sup>ねんごろ</sup>」年頃 から A.D.「<sup>ねんごろ か</sup>」年頃に書かれました。著者は  
約「<sup>いつかん</sup>」人と言われています。時代も環境や職業も違うのにテーマが  
一貫しているのは、本当の執筆者が「<sup>ほんとう しっぴつしゃ</sup>」だからです。  
(参照：P16～17)
- ◆ 神は天地を「<sup>かみ てんち</sup>」されました。  
『人間「<sup>にんげん</sup>」造られた神』ではなく『人間「<sup>にんげん</sup>」造られた神』なのです。  
(参照：P18, 20)
- ◆ 神は「<sup>かみ</sup>」の源です。人間は神の「<sup>にんげん かみ</sup>」として創造され、  
いのちの「<sup>みなもと</sup>」＝「<sup>にんげん かみ</sup>」を吹き込まれて生きるものとなりました。  
(参照：P20～22)
- ◆ 神は私達人間を「<sup>かみ わたしたちにんげん</sup>」してくださっています。神は人と共に生きるこ  
とを望み、存在そのものを喜んでおられます。神が造られた世界は非常に  
「<sup>かみ ひと とも い</sup>」ものでした。(参照：P22～23)

## いの お祈り

天の父なる神様、全てのものを造られ、いのちの源が、神様であることを  
感謝します。私達に命の息を吹き込み、心を通わせられるようにしてくだ  
さいました。神様に愛され、喜び持って生き、しっかりと繋がれている者に  
してください。御名によって、アーメン。

CHAPTER  
2-1

つみ  
罪



基本編 (きほんへん)

テキスト P24~38

1

せいしょよ よ まえ つみ つみびと い も  
聖書を読む前に「罪」「罪人」と言ったら、どのようなイメージを持ちましたか？  
いま どうですか？ (参照：P24～26)

2

かみ ことば したが しむ あくま たい おも  
神の言葉に従わないように仕向けた悪魔に対して、あなたはどのように思いますか？  
(参照：P28)

3

つみ こわ まえ かみ しんらいかんけい あい かんけい した まじ せかい  
罪によって壊される前の、神との信頼関係、愛の関係、親しく交わっていた世界  
とは どんなだったと 思いますか？ (参照：P28～29)

4

じぶんじしん ほんどう い み う い なに み  
自分自身を本当の意味で受け入れられなかったり、何をしても満たされない  
おも たにん ねた さげす いか さつじん おこな つみ じょうたい ゆえ  
思いや、他人を妬み、蔑み、怒り、殺人まで行うことは、罪の状態であるが故です。  
あなたはこのような状態になったことがありますか？  
このような状態の人を見てどのように 思いますか？ (参照：P30～32)

5

つみ たい おも  
罪に対して、あなたはどのように 思いましたか？

# 復習タイム

- ◆ 英語の罪には「<sup>えいご つみ</sup> 」と「<sup>さんしやう</sup> 」があります。(参照：P25)
- ◆ キリスト教の教える罪は、「<sup>きやう つみ</sup> 」ではなく「<sup>さんしやう</sup> 」です。(参照：P25)
- ◆ ギリシャ語の罪 = ハマルティアには、「<sup>ご つみ</sup> 」という意味があります。  
(参照：P26)
- ◆ エデンの園で最初の人間「<sup>その さいしょ にんげん</sup> 」と「<sup>へび</sup> 」が蛇 = 「<sup>へび</sup> 」に  
誘惑され、神の言葉に従わないように仕向けられました。
- ◆ 罪は肉体の「<sup>つみ にくたい</sup> 」だけでなく、神との永遠の「<sup>かみ えいえん</sup> 」が断ち切られる  
ことです。(参照：P28)
- ◆ 「<sup>おが</sup> 」 = 「<sup>おが つみ ぜんじんるい ひろ</sup> 」の犯した罪は全人類に広がり、人間の「<sup>にんげん</sup> 」  
と「<sup>りやうほう ちめいてき だけき あた</sup> 」の両方に致命的な打撃を与えました。(参照：P30)
- ◆ 罪によって心は決して「<sup>つみ ところ けつ</sup> 」することがなくなり、多くの悪が生まれる  
ようになったのです。(参照：P30,31)

## いの お祈り

てん ちち かみさま つみ おし かんしゃ まとはす  
 天の父なる神様。罪のことを教えてくださって感謝します。的外  
 れな生き方をし、何をしても満たされないものではなく、罪から  
 はな かみさま み い  
 離れ、神様に満たされて生きていけますように。アーメン。

CHAPTER  
2-2

つみ  
罪



基本編 (きほんへん)

テキスト P24~38

1

信仰しんこうを持つ前も、これを得たら幸せしあわになると思っていたものがありましたか？  
(参照：P32 ~ 34)

2

成功せいこうしたり、目標もくひょうを達成たっせいしたり、欲ほしかったものを得られた経験けいけんがあったら教え  
てください。(参照：P28)

\* その時ときの気持きもちちはどうでしたか？

\* その後あとその気持きもちちはどうになりましたか？ (参照：P35)

3

心こころで思った悪いわること、口くちから出る悪い言葉ことばも罪つみだと言われた時とき、あなたはおもどう思  
いましたか？ (参照：P35 ~ 36)

4

人間にんげんは死しんだらどうなると思おもっていましたか？

\* では神かみから離はなれたままの状態じょうたい (罪人つみびと) で、死しんだ後あと、さざばばきの座ざに立たつとい  
うことを聞きいてどう思おもいましたか？ (参照：P37 ~ 38)

5

多おほくの罪つみの状態じょうたいであり続つづける人々ひとびとに対して、あなたはいまどう思おもいますか？

# 復習タイム

- ◆ パスカルは、どんな人間の心にも、神でなければ埋めることのできない「  
」があり、神でなければ満たされないものがあると言いました。(参照：P32)
- ◆ 社会的成功、財産、恋愛、哲学、良心に従って生きても、難行・苦行・修行をして  
肉体を酷使しても、慈善・施しをしても、人間に「  
」を与えた神、人間を  
神の「  
」に造られた神に立ち返らなければ、心は本当の意味で満たされる  
ことはありません。(参照：P32～34)
- ◆ 「  
」の中の悪い思いも、口から出る悪い「  
」も罪(=sin)です。  
(参照：P35～36)
- ◆ 盗み、暴力、殺人など「  
」となって表れるのも罪です。  
(参照：P36～37)
- ◆ 「  
」はいない。ひとりもない。【ローマ 3:10】(参照：P37)
- ◆ 人間は死んだ後、神の前で「  
」を受けます。だから地上での生涯のうちに  
神との関係を回復しなければなりません。(参照：P37～38)

## いの お祈り

天の神様、人間の心に空いている穴を神様が埋めてくださること  
を教えてくださいありがとうございます。神様を求め、神様と  
の関係をこれからも深くしていけますように。アーメン。

CHAPTER  
3

すく  
救い



基本編 〈きほんへん〉

テキスト P40~50

1

あなたは自分を救うためにキリストが十字架にかかってくださったことをどう思  
いますか? (参照: P40 ~ 41)

2

あなたはキリストを信じるだけで救われることをどう思いますか?  
(参照: P42 ~ 43)

3

キリストを信じるだけで得られる祝福の数々を上げてみましょう。

4

あなたは最高の自分を取り戻し、最高の人生を生きていますか?  
(参照: P48 ~ 49)

5

救いについて、疑問や質問があったら上げてみましょう。

ふくしゅう

## 復習タイム

- ◆ 神は「<sup>かみ</sup>」なる方なので「<sup>かた</sup>」の状態の人間を受け入れられません。でも「<sup>にんげん</sup>」があるので人間を「<sup>すく</sup>」から救いたかったです。(参照：P40)
- ◆ 神の御子イエス・キリストはこの世に遣わされ、人間の罪を「<sup>にんげん</sup>」に死に、よみがえって信じる人に「<sup>あた</sup>」を与えて下さいました。(参照：P40～42)
- ◆ キリストを信じると、「<sup>しん</sup>」が信じた者の内に住んでくださいます。そして神との絆が再び繋がれ、「<sup>かみ</sup>」が回復するのです。(参照：P43)
- ◆ 聖霊は私達の「<sup>せいれい</sup>」を生き返らせてくださり、地上の命が終わっても、やがて新しい「<sup>あた</sup>」によりみがえらせてくださいます。(参照：P45～46)
- ◆ また信じた人は神の「<sup>しんじ</sup>」として新しく生まれ変わります。(新生)  
(参照：P46～47)
- ◆ 神との関係は「<sup>かみ</sup>」にして回復され、心の「<sup>こころ</sup>」は無くなり、神に正しい者と認められ、最高の自分を取り戻し、最高の人生を生きるようになるのです。(参照：P48～49)

## いの お祈り

天の神様、イエス様が私の罪の身代わりに十字架にかかってくさって、信じるだけで神の子とし、永遠の命を与えて下さったことを感謝します。神と共に生き、これから先も最高の人生を歩ませてください。キリストの名によって、アーメン。



これから起こること



基本編 (きほんへん)

テキスト P52~55

1

あなたはこれからの<sup>せかい</sup>世界が、<sup>いま</sup>今より<sup>よ</sup>良くなっていくと思いませんか？<sup>わる</sup>悪くなっていくと思いませんか？それはなぜですか？

2

キリストが<sup>いま</sup>今、この<sup>ちじょう</sup>地上に<sup>こ</sup>来られてあなたの<sup>め</sup>目の<sup>まえ</sup>前に<sup>こ</sup>来られたら、あなたはどうか<sup>かん</sup>感じたり、<sup>おも</sup>思ったりするのでしょうか？(参照：P52～54)

3

キリストが<sup>こ</sup>来られた<sup>とき</sup>時、<sup>かみ</sup>神を<sup>しん</sup>信じなかつたり、キリストを<sup>むし</sup>無視して<sup>い</sup>生きてきた<sup>ひと</sup>人たちはどうか<sup>おも</sup>思うと思いませんか？

4

主イエスがまた<sup>こ</sup>来られる<sup>とき</sup>時が、<sup>ほんとう</sup>本当の<sup>すく</sup>救いの<sup>とき</sup>時です。この<sup>すば</sup>素晴らしい<sup>とき</sup>時を<sup>ま</sup>待ち望<sup>のぞ</sup>むには、どのような<sup>まいにち</sup>毎日を送<sup>おく</sup>ったらいいのでしょうか？(参照：P52～54)

5

これから<sup>お</sup>起こることについて、<sup>ぎもん</sup>疑問や<sup>しつもん</sup>質問があつたら<sup>あ</sup>上げてみましょう。

ふくしゅう

## 復習タイム

- ◆ 主イエスは十字架にかけられ、三日目によみがえって、「」日間その姿を弟子たちに示されましたが、その後、「」に上げられました。(参照：P53)
- ◆ 今の世の中は「」に続くのではなく、「」の(完成する時)が来ます。それが主イエスが再び来られる時なのです。(参照：P53～54)
- ◆ 主が再び地上に来られることを、「」と呼んでいます。(参照：P54)
- ◆ 主は、ご自分を待ち望んでいる人々の救いを「」する為に来てください。
- ◆ 主を信じて、また来てくださる時を「」しましょう。(参照：P55)

## いの お祈り

天の神様、イエス様がまたこの地上に来てくださいますことを感謝します。今度は罪を負うのではなく、救いの完成の為に来てください。どうぞそのことを待ち望んで、希望をもって日々、歩めますように…。  
アーメン。

CHAPTER  
5

きょうかい  
教会



基本編 (きほんへん)

テキスト P56~65

1

あなたは<sup>きょうかい</sup>教会に来る<sup>く</sup>前<sup>まえ</sup>、<sup>きょうかい</sup>教会にどのようなイメージを持っていましたか？

2

あなたは、<sup>きょうかい</sup>教会が<sup>かみさま</sup>神様の<sup>からだ</sup>身体で、<sup>ひとりひとり</sup>一人一人、<sup>からだ</sup>身体の一部<sup>いちぶ</sup>のように<sup>おも</sup>思われていることをどう<sup>かん</sup>感じましたか？

3

あなたは、<sup>きょうかい</sup>教会が<sup>かみさま</sup>神様の<sup>かぞく</sup>家族であることをどう<sup>おも</sup>思いましたか？

4

あなたは<sup>きょうかい</sup>教会に関する<sup>かん</sup>P60～64の(1)～(5)を<sup>よ</sup>読んでどんな<sup>かんそう</sup>感想<sup>も</sup>を持ちましたか？

5

P65の<sup>せいれい</sup>聖霊<sup>ちから</sup>の力<sup>おこな</sup>で行うとはどのようなことだ<sup>おも</sup>と思いますか？

## 復習タイム

- ◆ 教会はキリストの「  
」で、イエス様は教会の「  
」、  
そして教会は神の「  
」と言えます。(参照：P56～57)
- ◆ 教会のメンバーはキリストの体の「  
」です。(参照：P58～59)
- ◆ メンバーの一人ひとりが「  
」で要らない人は誰もいません。  
(参照：P60～61)
- ◆ またメンバー一人ひとりが「  
」を持っており、一人ひとりが  
「  
」賜物をもっています。だから人と違っていいのです。  
(参照：P62～63)
- ◆ 教会はみんなで「  
」、みんなで「  
」合います。  
(参照：P63～64)
- ◆ でも伝道や奉仕は自分の力ではなく、「  
」の力でいきます。  
(参照：P65)

## いの お祈り

天の神様、神様が私たちに教会を与えて下さったことを感謝します。  
 身体の一部のように思われ、家族として見て下さっていることを感謝し、  
 互いに愛し合い、成長できる者としてくださいますようお願い致します。  
 イエス様の御名によって…。アーメン。

CHAPTER  
6

せいれい  
聖霊のバプテスマについて



基本編 〈きほんへん〉

テキスト P66~68

1

あなたは<sup>せいれい</sup>聖霊のバプテスマ、ということがあることを<sup>し</sup>知っていましたか？ <sup>し</sup>知っていた人はいつ知りましたか？ (参照：P66)

2

あなたは、<sup>さんび</sup>賛美や<sup>みことば</sup>御言葉や<sup>せつきょう</sup>説教で<sup>こころ</sup>心が<sup>せいれい</sup>聖霊で<sup>み</sup>満ち、<sup>なみだ</sup>涙が止まらないことや、<sup>ふか</sup>深く<sup>ひろ</sup>広い<sup>へいあん</sup>平安な<sup>こころ</sup>心、<sup>よろこ</sup>喜びや<sup>ちから</sup>力が<sup>わ</sup>湧いて<sup>く</sup>来る<sup>けいけん</sup>経験を<sup>さ</sup>されたことがありますか？

3

あなたは、<sup>いげん</sup>異言を<sup>き</sup>聞いたことがありますか？ <sup>き</sup>聞いたことのある<sup>ひと</sup>人はどのように<sup>かん</sup>感じましたか？

4

あなたは、<sup>せいれい</sup>聖霊を<sup>もと</sup>求めて<sup>いの</sup>祈っていますか？ <sup>しゅ</sup>主イエスの<sup>やくそく</sup>約束と P68 にある<sup>めぐ</sup>恵みを<sup>いただ</sup>戴きたいと思いませんか？

5

<sup>せいれい</sup>聖霊のバプテスマについてどんなことでも<sup>しつもん</sup>質問してください。

# 復習タイム

- ◆ 日本アッセンブリーズ・オブ・ゴッド教団は「  
と呼ばれる教団で、聖書に基づく「  
(参照：P66)」派  
」に重きを置いています。
- ◆ 聖霊に満たされる最初の体験を「  
その証拠は「  
(参照：P66～67)」と呼び、
- ◆ キリストの弟子は「  
ことばで話し始めました。使徒の働き2:1～4。全世界の20億人のクリスチャンのうち「  
(参照：P67)」人がペンテコステの信仰を持っています。
- ◆ 聖霊のバプテスマを通して、信仰が「  
」になり、礼拝でもっと「  
(参照：P68)」になり、祈ることが  
」を感じるようになります。
- ◆ またイエスさまを「  
」することや「  
(参照：P68)」をすることが喜び  
になります。

## いの お祈り

天の神様、私たちに今、聖霊を注いでくださり、満たして下さることをありがとうございます。聖霊で満たされ、さらに豊かで力強い信仰生活を送れるようにしてください。イエスさまの御名によってお祈り致します。アーメン。